

作成日 2019/08/20

改訂日 2024/04/04

安全データシート (SDS)

1. 化学品等及び会社情報

化学品の名称 (日本語)	白馬 エクセル EX
製品コード	101280
供給者の会社名	株式会社万立
住所	大阪府柏原市片山町 13-59
電話番号	072-977-0898
電子メールアドレス	info@mannryu.com
ファックス番号	072-977-0899
緊急連絡電話番号	090-9984-1577
推奨用途	化学床材の保護 (防汚、傷防止) つや出しコーティング
使用上の制限	上記用途に限る

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	爆発物	分類できない
	可燃性ガス	区分に該当しない (分類対象外)
	エアゾール	区分に該当しない (分類対象外)
	酸化性ガス	区分に該当しない (分類対象外)
	高压ガス	区分に該当しない (分類対象外)
	引火性液体	分類できない
	可燃性固体	区分に該当しない (分類対象外)
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	分類できない
	自然発火性固体	区分に該当しない (分類対象外)
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	分類できない
	酸化性固体	区分に該当しない (分類対象外)
	有機過酸化物	分類できない
	金属腐食性物質	分類できない
	鈍性化爆発物	分類できない

健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分に該当しない（分類対象外）
	急性毒性（経皮）	分類できない
	急性毒性（吸入：気体）	区分に該当しない（分類対象外）
	急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
	急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	分類できない
	皮膚腐食性／刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	生殖毒性・授乳影響	分類できない
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	分類できない
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	分類できない
	誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期（急性）	分類できない
	水生環境有害性 長期（慢性）	分類できない
	オゾン層への有害性	分類できない

GHS ラベル要素

絵表示（ピクトグラム）	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし

3. 組成及び成分情報

単一物質・混合物（製品）の区別：混合物

化学式または一般名	化学式	化学法番号	CAS-No	安衛法番号	含有量（％）
金属架橋型アクリル樹脂	非開示	非開示	非開示	非該当	非開示
高融点ポリエチレンワックス	非開示	非開示	非開示	非該当	非開示
アルカリ可溶性樹脂	非開示	非開示	非開示	非該当	非開示
成膜助剤	非開示	非開示	非開示	非該当	非開示
可塑剤	非開示	非開示	非開示	非該当	非開示
フッ素系界面活性剤	非開示	非開示	非開示	非該当	非開示
防腐剤	非開示	非開示	非開示	非該当	非開示
消泡剤	非開示	非開示	非開示	非該当	非開示
水	H ₂ O			非該当	

シックハウス、シックスクール疑惑物質（厚生労働省指針値対象物質1 3品目）	原料として使用していません
学校環境衛生基準該当物質（文部科学省）	原料として使用していません
環境ホルモン疑義物質	原料として使用していません
化学物質管理促進法（PRTR法）	非該当

4. 応急措置

吸入した場合	気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移し安静・保温に努め、速やかに医師の診断を受けること。
皮膚に付着した場合	付着した部位を多量の水で洗い流す。汚染した衣類は直ちに脱ぎ、衣類と皮膚にた液を多量の水で洗い流す。炎症、痛みなどがあれば、医師の診断を受ける。
眼に入った場合	水で15分以上注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師の診断を受ける。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	直ちに、口、喉を水で洗い、多量の水を飲ませ（この時、無理に吐かせない）直ちに医師の診断を受ける。いずれの場合も医師への受診時には、製品安全データシート（SDS）を持参する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	水、泡、粉末、二酸化炭素などの一般消火剤が使用できる。
消火方法	本製品は不燃物であるが、周辺火災の場合には速やかに安全な場所に移す。
消火活動を行う者の特別な保護具	適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	
人体に対する保護具	必要に応じて、保護眼鏡、保護手袋等の保護具を着用する。
環境に対する注意事項	雨水溝、河川、海上などに排出されないように注意する。
封じ込め及び浄化方法・機材	少量の場合は、ウエス、モップ、吸着マット、砂等で吸着させ空容器に回収する。大量の場合には土のう等で流出を防いだ上でポンプを用いて吸い取る。

7. 取扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策	取扱い場所の近くに、洗眼および、身体洗浄の設備を設置する。
注意事項	眼および皮膚（髪）への接触を避ける。
安全取扱注意事項	保護眼鏡、保護手袋など、適切な保護具を着用する。
保管	
保管条件	直接日光、40℃以上、多湿および凍結の恐れのある場所を避け、換気の良い冷暗所に密閉保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	未設定
許容濃度	未設定
設備対策	蒸気が滞留しないように局所換気装置または全体換気装置を設置する。
呼吸器の保護具	保護マスクを着用すること。
手の保護具	ゴム製またはビニール製保護手袋
目、顔面の保護具	保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	ゴム長靴、保護衣

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	乳白色
臭い	データなし
粘度	データなし
比重	1.035±0.010 (25℃)
不揮発分	約 22%
凝固点	約 0℃
沸点	約 100 °C
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし。
引火点	データなし。
自然発火点	データなし。
分解温度	データなし。
pH	8~9 (25℃)
動粘性率	データなし。
溶解度	水に任意に溶解する。
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	データなし。
蒸気圧	データなし。
密度及び／又は相対密度	データなし。
相対ガス密度	データなし。

粒子特性 データなし。

10. 安定性及び反応性

安定性	常温・常圧では安定。
危険有害反応性	データなし。
避けるべき条件	直射日光、40℃以上、多湿、凍結条件下、開放状態
混触危険物質	データなし。
危険有害な分解生成物	データなし。

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	混合物判定理論 LD50 推定値 A T E mix が 2,000mg/kg を超えるため区分に該当しないに該当。
急性毒性（経皮）	データ不足のため分類できない。
急性毒性（吸入：気体）	GHS 定義による気体ではない。
急性毒性（吸入：蒸気）	データ不足のため分類できない。
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性／刺激性	データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	データ不足のため分類できない。
呼吸器感受性	データ不足のため分類できない。
皮膚感受性	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
発がん性	データ不足のため分類できない。
生殖毒性	データ不足のため分類できない。
生殖毒性・授乳影響	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	データ不足のため分類できない。
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期（急性）	データ不足のため分類できない。
水生環境有害性 長期（慢性）	データ不足のため分類できない。
生態毒性	データなし。
残留性	データなし。
分解性	データなし。
生体蓄積性	データなし。

土壌中の移動性	データなし。
オゾン層への有害性	データ不足のため分類できない。

1.3. 廃棄上の注意

環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

残余廃棄物（化学品）	下水道以外の河川等、公共水域への排出は絶対に避ける。 少量の場合は、水で十分に希釈しながら下水道に廃棄する。 大量の場合は、内容を明示した上都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。
汚染容器及び包装	地域の規則に従って廃棄すること。焼却する場合、関連法規・法令を厳守すること。廃棄する場合、都道府県知事の認可を受けた産業廃棄物収集・運搬・処理業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び関係法規・法令を厳守し、適正に処分すること。

1.4. 輸送上の注意

国際規制

国連番号	国連の基準で評価して危険物に非該当。
国連分類（危険有害性クラス）	国連の基準で評価して危険物に非該当。

国内規制がある場合の規制情報

海上規制情報	船舶安全法	非危険物（個別運送およびバラ積み運送において）
航空規制情報	航空法	非危険物
陸上規制情報	消防法	非危険物

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認すること。転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行うこと。

緊急措置指針番号 7 項の「取扱い及び保管上の注意」を参照

1.5. 適用法令

労働安全衛生法

表示および通知対象物質：該当しない
皮膚等障害化学物質等（則第 594 条の 2）：該当しない

化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）：該当しない

毒物及び劇物取締法：該当しない

消防法：該当しない

船舶安全法：該当しない

航空法：該当しない

海洋汚染防止法：該当しない

16. その他の情報

参考文献

化学品の分類および表示に関する世界調和システム（GHS）改訂9版（国際連合）

GHS 対応 化管法・安衛法におけるラベル表示・SDS 提供制度（厚生労働省）

備考

本記載内容は本製品に関するものであり、危険・有害性化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱う業者に提供されるものです。

また、情報の正確性、信頼性、あるいは完全性について保証するものではありません。

記載内容は現時点で入手出来る情報に基づいて作成してありますが、新しい知見により改訂されることがあります。取扱う業者は、これを参考として自らの責任において、個々の取扱い等の実態に適切な処置を取ることが必要であることを理解した上で、使用されるようお願いします。